



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月9日

上場取引所 東

上場会社名 タビオ 株式会社
 コード番号 2668 URL <http://www.tabio.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 越智 勝寛
 (氏名) 谷川 繁

TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	4,426	7.9	403	47.7	410	41.8	240	45.5
26年2月期第1四半期	4,102	6.3	273	6.0	289	13.9	165	49.4

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 234百万円 (37.5%) 26年2月期第1四半期 170百万円 (38.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	35.28	—
26年2月期第1四半期	24.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	8,443	5,437	64.4
26年2月期	8,141	5,407	66.4

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 5,437百万円 26年2月期 5,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,124	△2.2	△22	—	△14	—	△36	—	△5.28
通期	16,139	1.9	539	△0.8	556	△5.4	225	△26.1	33.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	6,813,880 株	26年2月期	6,813,880 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	1,779 株	26年2月期	1,779 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	6,812,101 株	26年2月期1Q	6,812,101 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年5月31日)における国内経済におきましては、消費増税に伴う駆け込み需要と一定の反動減はあったものの、景気全体の流れは底堅い動きとなりました。また、ベースアップやボーナス増加等による家計収入に対する期待感もあり、景気は緩やかな回復基調を示しております。一方で、消費増税後の節約志向の高まりや原料・燃料高による価格上昇等の要因もあり、消費心理に対する下押しリスクも懸念されております。

国内衣料品販売におきましては、消費増税による駆け込み需要とその反動の有無により、増税前後の販売動向は2極化の傾向が見られましたが、次第にその影響も和らいできており、家計収入の増加が期待される中、顧客ニーズの掘り起こしに向けて、洗練された高付加価値商品の提案が求められております。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に変化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、3月中旬以降の気温の上昇と消費増税前の駆け込み需要がピークとなったことや、白カラーを中心としたショート丈ソックスなどがトレンド商品となったことから、春物商戦は好調に推移しました。消費増税後も3月からの販売基調を引き継ぎ、増税による影響もほとんど見られることなく、ベーシック商品とトレンド商品をバランスよく展開したことにより、春夏物商品が好調に動きました。また、出店政策においては、商業施設同士や商業施設内での店舗間競合が強まる中、当グループでは、お客様からご支持いただけるブランドを目指して、店舗イメージの刷新や販売拠点の確保など、店舗の出店・リニューアルを重視した戦略に注力した結果、売上高は好調に推移致しました。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、従来からの店舗イメージを刷新したリニューアルを推進していくことにより、洗練された商品構成を持つ専門店の確立を進めて行くと共に、レディース、メンズゾーンに加えキッズ商品の展開も含めた複合店展開の強化に尽力いたしました。

「ショセツ関連部門」における「ショセツ事業」では、新規出店・リニューアルによる『タビオ』ブランドの浸透を図ると共に、長物商品の刷新、エレガント系商品の開発を進め、『靴下屋』との差別化を図ったブランド政策を推し進めて参りました。また、「紳士靴下事業」では、カジュアルゾーンなどの商品ラインナップの拡充を図っていくと共に、単独店や複合店の出店・リニューアルに向けた取り組みに尽力致しました。

また、海外展開におきましては、タビオ・ヨーロッパ、タビオ・フランスでの事業基盤の安定化に尽力すると共に、ヨーロッパ・アジア地域でのマーケットリサーチを行い、今後の販路拡大に向けた取り組みを継続して行って参りました。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店2店舗、直営店6店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店3店舗、直営店1店舗の退店により、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店125店舗、直営店175店舗(海外子会社の5店舗を含む)、合計300店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,426百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は403百万円(前年同期比47.7%増)、経常利益は410百万円(前年同期比41.8%増)、四半期純利益は240百万円(前年同期比45.5%増)となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期(3月～8月)に比べ下半期(9月～2月)に販売される割合が大きくなっております。従いまして第1四半期を含む上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

また、第1四半期(3月～5月)は、第2四半期(6月～8月)と比較して売上高の水準が高くなる期間であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金で512百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が700百万円、商品が88百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて302百万円増加し、8,443百万円となりました。

負債については、未払法人税等が55百万円、賞与引当金が86百万円それぞれ減少しましたが、買掛金が112百万円、流動負債のその他が325百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて272百万円増加し、3,006百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比べて30百万円増加し、5,437百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の66.4%から64.4%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想については、平成26年4月10日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,106,541	1,593,694
受取手形及び売掛金	738,749	1,439,609
商品	585,402	673,634
貯蔵品	499	499
その他	243,269	176,332
貸倒引当金	△8,100	△20,967
流動資産合計	3,666,362	3,862,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,157,424	1,242,425
土地	1,182,014	1,182,014
その他(純額)	347,035	408,757
有形固定資産合計	2,686,475	2,833,197
無形固定資産		
505,399		454,440
投資その他の資産		
差入保証金	1,232,498	1,249,864
その他	52,194	45,100
貸倒引当金	△1,635	△1,646
投資その他の資産合計	1,283,057	1,293,318
固定資産合計	4,474,932	4,580,956
資産合計	8,141,294	8,443,760
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,391,019	1,503,168
短期借入金	118,286	120,152
未払法人税等	171,730	116,138
賞与引当金	124,472	38,030
その他	568,359	894,349
流動負債合計	2,373,868	2,671,837
固定負債		
長期借入金	36,892	6,704
退職給付引当金	59,401	50,182
資産除去債務	130,623	143,158
その他	133,070	134,218
固定負債合計	359,987	334,263
負債合計	2,733,856	3,006,101

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	4,900,991	4,936,929
自己株式	△952	△952
株主資本合計	5,407,251	5,443,189
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	186	△5,531
その他の包括利益累計額合計	186	△5,531
純資産合計	5,407,438	5,437,658
負債純資産合計	8,141,294	8,443,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	4,102,296	4,426,439
売上原価	1,811,257	1,933,923
売上総利益	2,291,038	2,492,516
販売費及び一般管理費	2,017,958	2,089,311
営業利益	273,080	403,204
営業外収益		
受取利息	1,166	849
仕入割引	2,671	2,623
為替差益	6,586	83
受取手数料	3,013	4,181
その他	6,909	1,820
営業外収益合計	20,347	9,558
営業外費用		
支払利息	2,604	1,517
その他	911	281
営業外費用合計	3,515	1,798
経常利益	289,911	410,964
特別損失		
賃貸借契約解約損	1,049	-
減損損失	-	7,208
特別損失合計	1,049	7,208
税金等調整前四半期純利益	288,861	403,755
法人税、住民税及び事業税	65,133	102,319
法人税等調整額	58,524	61,135
法人税等合計	123,657	163,454
少数株主損益調整前四半期純利益	165,204	240,301
四半期純利益	165,204	240,301

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	165,204	240,301
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,402	△5,717
その他の包括利益合計	5,402	△5,717
四半期包括利益	170,606	234,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,606	234,583
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。